2021 年度「推進パートナーアンケート」質問項目一覧

がん検診受診率について

下記項目についてご回答ください。

問1.

■ 貴社・貴団体名(必須)			
■ ご担当者様氏名			
■ ご担当者様のメールアドレス(必須	1)		
■ ご担当者様の電話番号			
明2. 貴社・貴団体の業種をお知	らせください。(必須・一つだけ選	択)	
□ 健康保険組合	□ 非鉄金属製造業	□運輸業	
□農業	□ 金属製品製造業	□ 卸売業、小売業	
	□ はん用機械器具製造業	□ 金融業	
	□ 生産用機械器具製造業	□ 保険業	
□ 林業	□ 業務用機械器具製造業	□ 不動産業	
□ 鉱業、採石業、砂利採取業	□ 電気機械器具製造業	□ 物品賃貸業	
□ 建設業	□ 情報通信機械器具、電子部品	□ 宿泊業、飲食サービス業	
□ 食料品、飲料・たばこ・飼料製造業	・デバイス・電子回路製造業	□ 教育、学習支援業	
□ 繊維工業	□ 輸送機械器具製造業	□ 医療、福祉業	
□ 木材・木製品・パルプ・紙	(自動車・関連部品製造業含む)	□ 経営コンサルタント業	
・紙加工品製造業	□ その他の製造業	□ 広告業	
口化学工業	□ 電気・ガス・熱供給・水道業	□ 学術研究、専門・技術サービス業	
□ 医薬品製造業 □ 化粧品・歯磨、	□ 放送・通信業	□ 生活関連サービス業、娯楽業	
こ 12位品・圏塔、 その他の化粧用調整品 製造業	□ 情報サービス業	□ その他のサービス業	
□ 石油製品・石炭製品製造業	(ソフトウェア業含む)	□その他(`
□ 窯業・土石製品製造業	しとファリエノ妻ろが	1 1 7 0 mg. (,
	(ノノトリエノ 乗るむ) □ インターネット付随サービス業)

問3. 貴社・貴団体の従業員数(被保険者数)をお知らせください。(必須)

(出版業含む)

■従業員数(被保険者数)	(男性)名	
■従業員数(被保険者数)	(女性)名	
	(AIL	7 4	

胆和	昨年申も木アンケー	- トにご回答いただきすしたか?	(水)須)

□ 回答した	□ 今回が初めて	□ 分からない	□ その他()

2021 年度「推進パートナーアンケート」質問項目一覧

がん検診受診率について

問5. 貴社・貴団体	におけるがん検診受診率に	ついて、把握されてい	いますか?(必須)	
□ 把握している	□ 把握	量していない	[□ 一部把握している
	5つのがん検診について、; い。※わからない場合には			
■胃がん検診	() %		
■肺がん検診	() %		
■大腸がん検診	() %		
■乳がん検診	() %		
■子宮頸がん検診	() %		
度いらっしゃいます。	して現在推奨する検診ではあ 本調査では前立腺がん検診実 直近の年度の受診率をお答えい い。 (必須)	施の実態把握を目的と	し質問しております。	前立腺がん検診を
□ 前立腺がん検診を	を実施している	□ 前立腺がん検診を実施	奄していない	□ わからない
■前立腺がん検診	() %		

※これ以降の質問に関しては、今年度の状況についてお答えください。

問7. 下記の一覧にある取り組みのうち、すでに着手しているものはありますか? (複数回答可)

費用負担について	□ 1. がん検診費用を会社・健保で補助している(全額または一部)
27,127,1212	1. を選んだ人のみ選択してください
	□ 従業員(正規・非正規)を対象として補助している
	□ 正規の従業員のみを対象として補助している
	□ 2. 検査機関までの交通費を会社・健保が支給している(全額または一部)
	□ 3. 検診にかかる自己負担分の費用を窓口支払いではなく給与天引きにしている
	□ 4. 自治体が実施しているがん検診を受診した方に、費用を会社・健保で補助している (全額または一部)
	□ 5. それぞれのがん検診受診時間を予め決定している
受診日時について	□ 6. 従業員の希望に合わせて受診したい日時を決定している
ZW F M (C) (6. を選んだ人のみ選択してください
	□ それぞれの従業員がインターネットなどを用いて自ら受診時間を決定している
	□ 従業員から聞き取り調査や調査用紙などを用いて、希望を確認し、予約の代行を行っている
	□ 7. がん検診受診時間を就労扱いとしている (勤務日なら就労扱い、休日なら代休の取得可能)
	□ 8. がん検診受診時間を特別休暇扱いしている
	□ 9. 検診車を職場に派遣させるなど、職場で一斉に検診を行っている
受診場所について	□ 10. 従業員の希望に合わせて受診した医療機関から選択できるようにしている
	10. を選んだ人のみ選択してください
	□ それぞれの従業員がインターネットなどを用いて自ら受診時間を決定している
	□ 従業員から聞き取り調査や調査用紙などを用いて、希望を確認し、予約の代行を行っている
	□ 11. がん検診の項目を個人が選択できるようにしている
検診受診	□ 12. 各々検診に関するメリットとデメリット、結果の解釈などがわかるような説明資料を準備している
その他について	□ 13. 国が推奨している検診の内容を従業員にも推奨している
	□ 14. 健康診断とがん検診をワンストップで受診できる体制を整えている
	□ 15. がん検診実施の際に、女性への配慮を行っている
	(例:技師等検診スタッフを全員女性にしている、レディース検診デーを設ける、等) □ 16. 大腸がん検診の検査キットを、申し込みをとらずに該当者全員に配布している
受診勧奨について	□ 17. 受診対象者には文書・メール・口頭などで受診を促すお知らせをしている
	□ 18. 未受診者には再度、文書・メール・口頭などで受診を促すお知らせをしている
	□ 19. 管理職から従業員へ受診勧奨するよう管理職に対する通知をしている
啓発について	□ 20. 専門スタッフ (産業医、産業保健師、産業看護師等)が主導して、 がんに対する情報発信やがん検診の推進をしている
	□ 21. がん検診に関するポスターやパネルの掲示、社内報やセミナーなどを通じて、
	がんに対する情報を発信している

がん検診受診率向上に向けた取り組み

	□ 22. 企業アクションが発行する『がん検診のススメ』を読むように従業員に推奨している				
	□ 23. 企業アクションが作成したE-Learningを会社として導入している				
	(または、する予定がある)				
検診の結果把握に	□ 24. 従業員のがん検診(1次検診)の受診状況を把握する仕組みがある				
ついて	24. を選んだ人のみ選択してください				
	□ 1次検診の受診の有無のみを把握する仕組みがある				
	□ 1次検診の結果まで把握する仕組みがある				
	□ 25. がん検診(1次検診)の結果を、会社もしくは健保が集取することに対して、				
	従業員もしくは被保険者から同意を取得している				
	□ 26. 精密検査の受診状況を把握する仕組みがある				
	26. を選んだ人のみ選択してください				
	□ 精密検査の受診の有無のみを把握する仕組みがある				
	□ 精密検査の結果まで把握する仕組みがある				
	□ 27. 精密検査の結果を、会社もしくは健保が集取することに対して、				
	従業員もしくは被保険者から同意を取得している				
	□ 28. 要精密検査対象者に受診勧奨をしている				
	28. を選んだ人のみ選択してください				
	□ メールで精検受診を勧奨している				
	□ 産業保健職などが電話で精検受診を勧奨している				
	□ 29. 精検受診の費用を会社・健保で補助している(全額または一部)				
経営層・	□ 30. 安全衛生委員会で議題として取り上げ、受診勧奨するよう管理職に通知している				
管理職に	□ 31. 各事業所のトップが集まる会議や健康管理推進委員会等で、事業所別の受診率を明示している				
ついて	□ 32. 保健事業推進委員会など、専門委員会を設置している				
	□ 33. 被扶養者の方の受診率を把握している				
被扶養者の受診に	□ 34. 被扶養者の方へ受診勧奨をしている				
ついて	□ 35. 被扶養者の方へ検診案内を本人宛に郵送で届けている				
	□ 36. がん検診費用を会社・健保で補助している(全額または一部)				

問8.	ご担当者様の所属についてお答えください。	(必須)
	□ 人事・総務系・健康管理担当者様□ 健康保険組合関係者様	
	事・総務系・健康管理担当者様 → 問 9〜問13をお 東保険組合関係者様 →問 14をお答えください。(
問9.	両立支援を支える制度として、貴社に以下	
	 □ 1. 時間単位の年次有給休暇 □ 2. 傷病休暇・病気休暇制度 □ 3. 休職制度 □ 4. 休職期間延長制度 □ 5. 時差出勤 □ 6. 勤務時間の変更、短時間勤務制度 	□ 7. 勤務日・勤務日数の変更 □ 8. 在宅勤務制度(テレワーク) □ 9. 仮出勤・仮出社・試し出勤 □ 10. 貴社、貴団体独自の賃金等補償制度(補助金・見舞金等含む □ 11. 就労相談窓口の設置
問10.	貴社従業員数(もしくは貴会の被保険者数 □ 0-20名 □ 21名-100名 □ 101名-500名 □ 501名-1000名 □ 1001名-5000名 □ 5001名以上	数)は下記のどこに当てはまりますか?(必須)
問11.	がん治療と仕事の両立を 支 えるために行っ [~] ※20名以下の企業のみ回答ください。	ている取り組みがあればお答えください。

問11.	両立支援を支えるため以下の取り組みはありますか?(複数回答可) ※21名以上の企業のみご回答ください。
	 □ 1. 人事労務担当者や上司・同僚、産業保健スタッフ、主治医などの情報共有のための仕組みづくり □ 2. 業務内容や職種、勤務地などの変更 □ 3. 上司から部下への働きかけを行うための研修 □ 4. 上司や人事、保険担当者などと定期的に相談できる場を設ける □ 5. 病気や体調を同僚・上司・関係者に伝えられるよう、サポート □ 6. 仕事を継続しながら治療を行うための制度や相談窓口について十分に説明を行う □ 7. がん治療をしながら仕事を継続してほしいと伝える □ 8. 休職中に職場とのコミュニケーションが取れる体制づくり □ 9. 「両立支援プラン」の策定 □ 10. 定期的な面談による両立支援プランの改定 □ 11. 急な体調変化で業務に支障が出るような場合にも気兼ねせずにすむ体制づくり □ 12. 担当外なのでわからない
問12.	がん治療と仕事の両立を支えるため、産業医と連携していますか?(必須) ※21名以上の企業のみご回答ください。
	□ 産業医と連携している □ 産業医と連携していない □ 産業医を選任していない
問13.	がん治療と仕事の援両立支援における医療機関との連携の方法について、あてはまるものを 選んでください。(複数回答可) ※21名以上の企業のみご回答ください。
	 □ 1. 治療を受ける従業員の勤務情報を主治医等へ提供している □ 2. 就業継続の可否や職場復帰等について、主治医に意見を求める意見書作成を依頼している □ 3. 医療機関から得た意見書をもとに、見直した就業の状況等について、医療機関へ報告している(産業医から主治医への報告を含む) □ 4. 従業員の希望や必要に応じて、産業保健スタッフや人事担当、上司等が、医師の説明に同席するなど、医療機関と直接両立支援について相談できる体制を整備している □ 5. がん相談支援センターへ相談するよう従業員へ案内している □ 6. 担当外なのでわからない □ 7. その他(
下訂	己の質問には、健康保険組合関係者様がお答えください。
問14.	がん治療と仕事の両立支援に対する貴健保組合での取り組みについて、あてはまるものを 選んでください。 (複数回答可)
	□ 1. 法定給付に上乗せする給付や法定給付の期間を延長する給付期間のある傷病手当金の支給 □ 2. 就労相談窓口の設置 □ 3. 働きながら治療する際の注意事項などの情報提供 □ 4. その他

)就労支援、がんに関する情報提供などですので、具体的にご記入ください。
で優れ	た対応を表彰)がありま		ンの表彰制度(がん対策への効果) される企業・団体は、下記の項目 <i>い</i> お願いします)
•	貴社・貴団体ががん検診st ご記入ください。	を診率向上のために行っている取	り組み例(好事例)を具体的に

問17.	貴社・貴団体ががん治療と仕事を両立するために行っている取り組み例(好事例)を具体的に ご記入ください。
	社内・団体内の規約や制度にはなくても、がんが発見された従業員が就労を継続するために、 「配慮をした事例がありましたら、どのようなことでも結構ですので、具体的にご記入ください。
問19.	貴社・貴団体が従業員やその家族に、がんに関する情報提供や教育のために行っている 取り組み例(好事例)を具体的にご記入ください。

本調査結果は企業アクシ	/ョンでの結果報告/アドバイザリー↓	レポート作成に加え、	匿名化の上、	学術的な評価にも利用さ
れる可能性があります。	学術的な評価での利用を拒否される	場合は以下に☑をつ	けてください。	ı

□ 学術的な評価における利用は拒否する

ご協力ありがとうございました。